

第二項 鹽ノ計量、鑑定、包裝、貯藏及回送

計量

鹽ノ計量ハ如何ニスヘキカ重量主義ヲ採ルヘキカ容量主義ヲ採ルヘキカハ重大ナル問題ノ一ニシテ又最モ困難ナル問題ナリトス先ツ鹽ノ一定容量ニ對スル公稱重量ニ付調査シタルニ各地各慣行アリテ一樣ナラス其ノ一石重量真鹽ニ在リテハ二十八貫五百目乃至二十四貫、差鹽ニ在リテハ二十八貫七百目乃至二十四貫七百目ノ間ニ在リ多クハ容量取引ニシテ重量ヲ用フルハ稀ニ有ルニ過キス從テ公稱重量ナルモノハ容量ノ正否ヲ確ムル際ニ於テ僅ニ標準重量ト爲スニ過キサ

ルカ如シ

府縣名	產鹽地名	鹽種類	一定容量	公稱重量	算一 出石 重量	備考
千葉縣	津田沼町	真鹽	六一杯 三合	一七〇〇	二七〇〇	公稱ナキヲ以テ試量シタルモノ
	八井郷町	同	一手	二七〇〇	二七〇〇	
	行徳町	同	一石	二四、六〇〇	二四、六〇〇	
	同	差鹽	一石	二六、〇〇〇	二六、〇〇〇	同
	同	真鹽	一斗	二七、五〇〇	二七、〇〇〇	實量ハ五貫ナリ
	同	同	一斗	二六、〇〇〇	二五、〇〇〇	實量ハ四貫ナリ
	同	同	一斗	二五、〇〇〇	二五、〇〇〇	實量ハ五貫四百目ナリ
愛知縣	吉田村	差鹽	二斗	五、五〇〇	二七、〇〇〇	
	同	同	一斗	二、五〇〇	二五、〇〇〇	
	同	同	一石	二八、〇〇〇	二八、〇〇〇	
	同	同	一石	二七、〇〇〇	二七、〇〇〇	
	同	同	一石	二六、六六〇	二六、六六〇	
	同	同	一石	二六、八〇〇	二六、八〇〇	
	同	同	一石	二七、二〇〇	二七、二〇〇	
	同	同	一石	二六、〇〇〇	二六、〇〇〇	
岡山縣	備前濱	同	一石	二六、六六〇	二六、六六〇	
	同	同	一石	二六、八〇〇	二六、八〇〇	
	同	同	一石	二七、二〇〇	二七、二〇〇	
	同	同	一石	二六、〇〇〇	二六、〇〇〇	
兵庫縣	赤穂濱	同	一石	二六、〇〇〇	二六、〇〇〇	
	同	同	一石	二六、八〇〇	二六、八〇〇	
	同	同	一石	二七、二〇〇	二七、二〇〇	
	同	同	一石	二六、〇〇〇	二六、〇〇〇	

第二章 專賣法ノ制定

熊本縣		福岡縣		愛媛縣		德島縣		香川縣		廣島縣		山口縣																			
杵築町	本渡町	同	同	津屋崎町	同	多喜窪村	同	撫養町	同	見能林村	齋津村	志度町	引田村	同	阪田町、宇多津町、林田村	同	高松市、湯元村、東濱村、下笠居村	大津野村	松永町	瀬戸田町	竹原村	長府村	秋穂村	中關町	德下町	平生町	柳井町	小松志佐村	中ノ關村、平生町、長府村	秋井村	
眞鹽	差鹽	アジロ取鹽	差鹽	眞鹽	差鹽	眞鹽	差鹽	眞鹽	同	同	眞鹽	眞鹽	同	同	眞鹽	眞鹽	眞鹽	眞鹽	眞鹽	眞鹽	眞鹽	眞鹽	眞鹽	眞鹽	眞鹽	眞鹽	眞鹽	眞鹽	眞鹽	眞鹽	
八斗	一斗	一斗	一斗	一斗	一斗	一斗	一斗	一斗	一斗	一斗	一斗	一斗	一斗	一斗	一斗	一斗	一斗	一斗	一斗	一斗	一斗	一斗	一斗	一斗	一斗	一斗	一斗	一斗	一斗	一斗	
升	斗	斗	斗	斗	斗	斗	斗	斗	斗	斗	斗	斗	斗	斗	斗	斗	斗	斗	斗	斗	斗	斗	斗	斗	斗	斗	斗	斗	斗	斗	
二、二〇〇	二、八八〇	二、五六〇	二、七〇〇	二、六二五	二、九五〇	二、九五〇	二、九五〇	二、九五〇	二、九五〇	二、九五〇	二、九五〇	二、九五〇	二、九五〇	二、九五〇	二、九五〇	二、九五〇	二、九五〇	二、九五〇	二、九五〇	二、九五〇	二、九五〇	二、九五〇	二、九五〇	二、九五〇	二、九五〇	二、九五〇	二、九五〇	二、九五〇	二、九五〇	二、九五〇	二、九五〇
二、七五〇	二、七〇〇	二、七〇〇	二、七〇〇	二、七〇〇	二、七〇〇	二、七〇〇	二、七〇〇	二、七〇〇	二、七〇〇	二、七〇〇	二、七〇〇	二、七〇〇	二、七〇〇	二、七〇〇	二、七〇〇	二、七〇〇	二、七〇〇	二、七〇〇	二、七〇〇	二、七〇〇	二、七〇〇	二、七〇〇	二、七〇〇	二、七〇〇	二、七〇〇	二、七〇〇	二、七〇〇	二、七〇〇	二、七〇〇	二、七〇〇	二、七〇〇

府縣名	產鹽地名	鹽種類	一定容量	公稱重量	算一 出石 重量 當量	備	考
大分縣	同	差鹽	八升	二、一〇〇	二七、五〇〇		
	同	眞鹽	四升	九六〇	二四、〇〇〇		
	同	差鹽	四升	一、〇六〇	二六、五〇〇		
宮崎縣	同	眞鹽	七升五合	三、〇二五	二七、五〇〇		
	同	眞鹽	二斗二升	二、一〇〇	二八、〇〇〇		
	同	眞鹽	三斗五升	五、六〇〇	二五、四五四		
鹿兒島縣	同	同	四斗二升	九、八〇〇	二八、〇〇〇		
	同	同	四斗一升	一、〇〇〇	二八、五七一		
	同	同	四斗一升	一、五〇〇	二八、〇四八		
阿久根村	眞鹽	三斗五升	九、四五〇	二七、〇〇〇			

右ハ唯産地ノ一部分ニ於ケル調査ニ止マレルヲ以テ全國各地ニ付之ヲ調査スルトキハ尙多種多様ナルヘク而シテ各地ヲ通シ重量ト容量トノ割合ニ於テハ一定率ヲ存スルコトナレ或ハ製鹽ノ方法ニ依リ或ハ品質ニ依リ或ハ又結晶ノ大小ニ依リ一石四十貫ニ上ルモノアリ或ハ三十七八貫ノモノアリ又三十六貫ニ下ルモノアリ加之從來概シテ容量取引ニ係ルヲ以テ山計ヤマハカリアリ摺計スリハカリアリテ其ノ計量一定セサル爲メ其ノ平均割合ニ於テモ直ニ採テ標準ト爲スコト難シ依テ現品ニ就キ品質ニ應シテ之カ試験ヲ爲シ其ノ率ヲ概定スルヲ可トシ調査シタルニ内地鹽ハ二十七貫ヲ以テ中庸ヲ得タルモノト認メタルヲ以テ一石八百六十八斤七五ヲ相當ト爲シ之ニ依リ調査計畫ヲ立ツルコトトシタリ

鹽ノ取引ハ一二例外ノ地方ヲ除キ容量ニ依ラサルハナシ而シテ其ノ計量ハ各地慣行アルノミナラス之ニ巧拙アリテ頗ル不正確ノ嫌ナキニ非ス之ニ反シ重量主義ニ在リテハ比較的正確ニシテ萬偏一律ナルヲ得ルノ利アリ專賣制度ニ依リ從來ノ慣習ヲ破ルハ好ムヘキコトニ非サルモ政府

ノ事業トシテハ須ラク計量ノ確實ヲ期シ不正ノ餘地ヲ殘ササルヲ要スヘキヲ以テ是非ノ議論少
ナカラサリシモ重量主義ヲ採用スルコトニ決定シタリ

鑑定

鹽ノ良否ハ何ヲ標準トシテ之ヲ區別スヘキカモ亦重要ナル問題ノ一ニシテ從來一定ノ標準ナク
普通ニ色相、結晶、鹹味、重量、濕氣等ニ依リ色相ハ純白ニシテ光澤アリ稍淡藍色ヲ帶フルヲ可トシ結
晶ハ細微ナルヲ可トシ鹹味ハ辛味淡白ニシテ苦味ノ少キヲ可トシ重量ハ輕キヲ可トシ濕氣ハ少
キヲ可トスルコト各地一般ニ認ムル所ニシテ其ノ他或ハ之ヲ溶解シテ殘滓ノ有無ニ因リ或ハ溶
解ノ難易ニ因リ(例ヘハ肥前牧島鹽ハ六十分ニテ溶解スルニ東山代鹽ハ四十分ニテ溶解スルカ如
シ)或ハ鹽液ヲ塗抹シタル白紙ヲ炙リ其ノ色ノ濃淡ニ因リ(豐前與原)之ヲ區分スルアリ然レトモ概
シテ永キ經驗上ヨリ包裝ニ依リテ之ヲ鑑別シ產地別ニ良否ヲ定ムルノ慣行アリ即チ銘柄ナルモ
ノ是ナリ中山道方面ノ如キハ赤穗鹽ヲ上トシ本齋田鹽、松永鹽ノ如キヲ次トシ三田尻鹽及脇濱物
即チ主產地附近ノ產鹽ヲ下ト爲セリ又北海方面ニテハ專ラ夏期ノ製鹽ヲ以テ良鹽ト爲セルアリ
其ノ他產地方面ニ至リテハ焚方ニ因リテ之ヲ區別シ眞鹽ヲ上トシ差鹽ヲ下トセリ差鹽ニモ全部
差、五分差、三分差等ニ區分セリ又久シク貯藏セシ鹽ハ古積ト唱ヘ良鹽ト爲セリ此ノ如ク一定ノ標
準ナキモ歸スル所ハ鹽分ノ多少ニ在ルヲ以テ今之ヲ統一シテ之カ等級ヲ定ムルニハ一方ニハ商
品トシテ一般ノ嗜好ヲモ顧ミサルヘカラスト雖結局鹽ノ成分ヲ檢シテ其ノ良否ヲ甄別シ品質ノ
上下ヲ定ムルノ外ナキヲ以テ含有鹽化曹達ノ量ヲ以テ之ヲ定ムルヲ適當ト認メ結晶又ハ色相等
ハ品質檢定ニ加味セサルコトト爲シタリ元來移入臺灣鹽ノ如キハ灰白色又ハ褐色ヲ爲セルアリ
ト雖內地產鹽ニ在リテ純白色ヲ普通ト爲セルヲ以テ普通鹽トシテノ色相ヲ帶ヒサルモノニアリ
テハ相當ニ處分セシムルコトトシテ實際上支障ナカルヘキ見込ヲ以テ品質檢定上ニハ不問ニ付
スルコトト爲シタリ

内地産鹽ノ成分ハ含有水分其ノ他含有夾雜物ノ多量ナルモノ少ナカラスシテ含有鹽化曹達七十「パーセムト」ヲ下ルモノ稀ナリトセス然レトモ此ノ如キ不良ノ品ハ到底普通商品トシテ取扱フニ適セサルモノナルニ依リ少クトモ七十五「パーセムト」ヲ最低限度トスヘシトノ説アリシモ之ヲ實際ニ照シ七十「パーセムト」以上ヲ以テ收納ニ適スヘキモノト認メ之ヲ以テ最低限度ト爲スコトニ決定シタリ

鹽質ノ上下ハ或ハ三級區分ヲ可トシ或ハ四級區分ヲ可トシ又或ハ五級區分ヲ可トスルアリシモ五等級ヲ以テ實狀ニ適スルモノト認メ含有鹽化曹達九十「パーセムト」迄ヲ一等トシ以下五「パーセムト」ヲ下ル毎ニ一等ヲ下シ七十「パーセムト」迄ヲ五等ト爲スコトニ決定シタリ即チ左ノ如シ

- 一 等 含有鹽化曹達量百分ノ九十以上
- 二 等 同 百分ノ八十五以上
- 三 等 同 百分ノ八十以上
- 四 等 同 百分ノ七十五以上
- 五 等 同 百分ノ七十以上

然レトモ鹽ハ各種ノ夾雜物ヲ含ミ或ハ有機物、水ノ如キ蒸發物、泥砂ノ如キ不溶解物、其ノ他鹽化曹達以外ノ鹽類ヲ含有セルヲ以テ其ノ性質並含有量ノ多少等ヲ參酌スルノ必要アリ例ヘハ鹽化曹達量八十三「パーセムト」ヲ含有スル甲乙二種ノ鹽ニシテ甲八十「パーセムト」ノ夾雜鹽類ヲ含有スルモノトシ乙八十「パーセムト」ノ水分ヲ含有スルト假定セムカ鹽トシテノ品質ハ乙ヲ以テ佳良ナリト認メサルヲ得ス何トナレハ水分ノ如キハ日乾ニ依リテ或ル程度迄ハ任意ニ減少セシムルヲ得ヘシト雖夾雜鹽類ニ在リテハ比較的復雜ナル精工ヲ加フルニ非サレハ分離シ難シ此ノ如キ事情アルニ依リ夾雜成分カ鹽ヲ劣化セシムル程度同一ナラサルヲ以テ左ノ定率ニ依リ降下シ參酌ヲ

加フルコトト爲シタリ

水 一、一

夾雜物 一、二

即チ鹽ノ等級ヲ定ムルニハ之ニ含有スル水及夾雜物ノ量ヲ檢定シ各前記ノ係數ヲ乘シテ之ヲ百ヨリ控除シタル數ヲ以テ含有鹽化曹達ノ量ト爲スコトニ決定シタリ例ヘハ可檢鹽百分中水分八五夾雜物一二五アリトセハ $100 - 8.5 \times 1.1 - 12.5 \times 1.2 = 75.65$ 含有鹽化曹達量ヲ七十五、六五「パーセント」トシ四等ニ該當スルモノトス

等級ノ決定ハ收納ニ應シ迅速ニ執行セサルヘカラサルヲ以テ品質ノ鑑定ハ最モ敏捷ヲ要スルニ依リ研究ノ結果左ノ方法ヲ採ルコトニ決定シタリ

分析試驗方法

一 五十瓦ノ可檢鹽ヲ蒸餾水ニ溶解シ五百立方「センチメートル」ト爲シ之ヲ濾過スヘシ

二 第一號ノ濾過七十立方「センチメートル」ヲ採リ多量ノ炭酸重土ヲ加ヘ十分間煮沸シ冷却後蒸餾水ヲ加ヘテ原容ニ復セシメ之ヲ濾過スヘシ其ノ濾過五十立方「センチメートル」ニ二分ノ一定規炭酸加里液五十立方「センチメートル」ヲ加ヘ煮沸シ之ヲ濾過シタル後更ニ其ノ濾液八十立方「センチメートル」ヲ採リ二分ノ一定規鹽酸ヲ以テ過剩ノ炭酸加里ヲ滴定シ亞爾加里金屬以外ノ金屬ト化合シタル鹽素ノ量ヲ算出スヘシ

三 可檢鹽ヲ以テ適度ノ濃度ヲ有スル鹽液ヲ作り之ニ一定量ノ「コバルト」液「硝酸」コバルト「三十分ヲ蒸餾水六十分ニ溶解シタル液ニ亞硝酸曹達五十分ヲ蒸餾水五十分ニ溶解シタル液ヲ加ヘ更ニ冰醋酸十分ヲ加ヘテ攪拌シ一晝夜間放置シテ得タル上澄液ヲ加ヘ一定時間内ニ於テ黃色沈澱ノ分離スル状態ニ依リ加里ヲ檢定シ之ニ化合シタル鹽素ノ量ヲ算出スヘシ

四 第一號ノ濾液十立方「センチメートル」ニ蒸餾水ヲ加ヘテ百立方「センチメートル」ニ稀釋シ其

ノ二十五立方「センチメートル」ヲ採リ十分ノ一定規硝酸銀液ヲ以テ總鹽素量ヲ檢定スヘシ

五 可檢鹽十瓦ヲ攝氏百四十度ニ於テ一時間熱シ其ノ減量ヲ以テ水分トナスヘシ

六 第二號及第三號ニ依リテ檢定シタル各鹽素量ノ和ヲ第四號ニ依リテ得タル總鹽素量ヨリ

減シ其ノ殘數ヲ以テ曹達ト化合シタル鹽素トシ鹽化曹達ノ量ヲ算出スヘシ

第五號ニ依リ秤定シタル水分ノ量ト本號ニ於テ算定シタル鹽化曹達ノ量トノ和ヲ百ヨリ

減シ其ノ殘數ヲ以テ夾雜物ノ量トナスヘシ

斯クノ如ク鑑定ハ分析主義ヲ採用シタリト雖一々試驗ヲ施スハ煩フル煩ニシテ官民共ニ不便ナルヲ以テ實際ノ執行ニ付テハ各地トモ各其ノ收納鹽ニ付試驗ノ上標本ヲ設定シ普通之ニ對照シテ乾濕、色相、夾雜物ノ多少等ヲ查察シ等級ヲ鑑別スルコトトシ之ニ依リ等級ヲ定メ難キ場合ニ於テノミ分析試驗ヲ執行スルコトトシタリ

包裝

收納鹽ハ散鹽ニテ納付セシムヘキカ包裝ヲ施シ納付セシムヘキカモ亦施行上ニ於ケル最要ノ問題ニシテ其ノ何レヲ採ルヘキカハ收納ヨリ賣渡ニ至ルマテニ於ケル取扱ノ順序方法等如何ニスヘキカノ問題如何ニ依リ決定セサルヘカラス政府力成ルヘク貯藏ヲ爲サス隨テ收納スレハ隨テ賣渡スヘキ方針ヲ採ルトキハ倉庫モ多キヲ要セス鹽其ノ物ノ分量、品質等ニモ異變ヲ見ルコトナク收入ニ於テモ安全ナルノミナラス經費ノ節約トモナルヘキヲ以テ急施ノ官營事業トシテハ最も便益ノ主義ナリトシ之ヲ採用スルコトトシタリ從テ收納鹽ニ在リテモ從來ノ慣行ヲ更ムルコトナク包裝ヲ施シ納付セシムルコトニ決定シタリ

包裝ハ各地各様ニシテ或ハ仄ヲ用フルモノアリ或ハ菰俵ヲ用フルモノアリ其ノ俵ニ在リテモ稻

藁ヲ用フルアリ麥稈ヲ用フルアリ稀ニハ萱ヲ用フルアリ横俵アリ豎俵アリ而シテ其ノ精粗ニ在
リテモ一樣ナラス又遠送ノモノニアリテハ特ニ二重包装ヲ施スモノアリ俵口ノ締方繩ノ掛方亦
同シカラスシテ各地方一定ノ方式ヲ持シ自ラ産鹽ノ商標ヲ爲セリ其ノ入目ニアリテハ大ナルハ
五年ヲ超ユルアリ小ナルハ一年ヲ下リ八升入九升入アリテ其ノ種別甚タ多ク區々一定セス今主
要産地ニ於ケル包装ノ狀況ヲ掲クレハ赤穂ニ在リテハ眞鹽ハ小俵トシ差鹽ハ大俵トス大俵ハ三
斗五升入ニシテ四符薦ヲ用ヒ俵口ハ五角ト爲シ角邊ニ刺繩ヲ掛ケ之ヲ締メ梅鉢形ト爲シ二條ノ
檢繩ヲ三箇所ニ一條ノ縦繩ヲ十字ニ施セリ小俵ハ一斗入ニシテ同シク四符薦ヲ用ヒ俵口ハ大俵
ト同一ニシ二條ノ横繩ヲ三箇所ニ施シ縦繩ヲ施サス味野ニテハ大俵ハ五斗入トシ分俵ト稱シ二
斗五升入アリ二斗入アリ又小俵ト稱シ一斗六升入アリ何レモ四符薦ヲ用ヒ大俵ハ六角トシ分俵
小俵ハ五角トシ俵口ヲ締メ込ミ横繩ヲ掛ケ縦繩ハ十文字掛ヲ普通トス松永ニテハ大俵五斗二升
入中俵二斗六升入小俵ハ三ツ切ト唱ヘ一斗七升入トシ「キリコ」ト唱ヘ一斗入トス六符乃至四符ノ
薦ヲ用ヒ俵口ハ五角ニ締メ込ミ梅鉢形トナセルモ「ホラ付」ト稱シ一方ヲ稍潤クス横繩ハ三箇所ヲ
施シ縦繩ハ大俵ハ二箇所中俵ハ一箇所ヲ施シ小俵ニハ之ヲ施サス三田尻ニテハ大俵ハ五斗入ニ
シテ六符ノ薦ヲ用ヒ小俵ハ一斗六升入アリ又一斗入以下ノモノアリ四符薦ヲ用フ俵口ハ大俵ハ
十角ニ小俵ハ五角ニ折り締ム大俵ハ木口ト唱ヘ縦繩ヲ二重ニ施シ小俵ハ引掛ト稱シ縦繩ヲ單ト
ス横繩ハ普通三箇所掛ナルモ大俵ハ五箇所トスルコトアリ縦繩ハ大俵ニノミ施ス普通三箇所ナ
ルモ之亦四箇所ノコトアリ撫養ニテハ四符薦ニテ二斗五升入トス俵口ハ鼓狀ニ緊束シテ梅鉢形
ト爲スモ一方ヲ稍扁平トシ商標ノ附記ニ便セリ二條ノ横繩ヲ掛ケ縦繩ヲ施サス阪出ニテハ五符
又ハ六符ノ薦ヲ用ヒ大俵ハ五斗入小俵ハ二斗二升入トス俵口ハ八角又ハ六角ニ折り疊ミ細繩ニ
テ締メ付二條ノ横繩ト一條ノ縦繩トヲ施ス波止濱ニテハ四符乃至七符ノ薦ヲ用フ四符ノモノハ

一斗乃至六升入、五符ノモノハ二斗六升乃至二斗六符ノモノハ四斗六升乃至三斗八升、七符ノモノハ五斗二升乃至四斗八升入トス俵口ハ口繩ヲ五箇所ニ施シタルモノ即チ五角仕舞ヲ普通トシ横繩ハ三箇所ニ掛ケ縦繩ハ樽掛ト唱ヘ三箇所ノモノアリ十文字掛ト唱ヘ四箇所ノモノアリ右ハ唯各地方ニ於テ其ノ主ナル包裝ヲ舉ケタルニ過キスシテ異例ノモノニ至リテハ枚舉ニ遑アラス其ノ一例ヲ舉クレハ大鹽ノ如キハ地場賣ノモノハ八升入アリ九升五合入アリ福知山向ノモノハ本込一斗二升五合入、本横一斗二升五合入アリ尙同地方向ニテ一斗三升五合入アリ一斗四升入アリ一斗四升五合入アリ一斗五升入アリ丹後地方向トシテハ一斗六升入アリ四國地方向ノモノハ二斗入アリ二斗二升入アリ二斗五升入アリ東京向トシテ三斗四升入アリ九州向ニハ一斗入アリ五斗入吠アリ大阪向ニハ三斗八升入麥稈俵アリ北陸方面向ニ一斗六升入アリ奥羽向ニ二斗五升入アリ濃尾地方向ニ二斗三升入アル等區々一定セス而カモ仕向地ノ希望ト販賣競争上等ヨリ種々ノ包裝ヲ施スアリ以テ一般ヲ窺フニ足ルヘシ

包裝鹽ハ又其ノ唱ヘ量ト實量ト符合セサルモノ多ク大俵ハ概シテ入弊アリテ實量ノ方多量ノモ

ノ多キモ小俵ニ在リテハ之ニ反セルモノ多キカ如シ

府縣名	産鹽地	鹽種類	俵量	實量	差増減
千葉縣	行徳	眞鹽	四斗八升	五斗四合	二升四合増
愛知縣	田江	眞鹽	一斗五升	三斗一升五合	一升五合増
福中縣	同	眞鹽	一斗五升	一斗二升	三升減
東神縣	黒部	眞鹽	一斗九升	一斗七升	二升減
三重縣	同	眞鹽	二斗	一斗七升	五升減
			二斗	一斗七升	三升減

シ其ノ方針ヲ府縣知事並稅務監督局長等ニ通牒シ一般ニ周知セシメ疑惧ナカラシムルコトト爲シタリ

主產地ニ於ケル鹽ニ在リテハ之カ販賣上其ノ產地ヲ證スル爲メ其ノ包裝面ニ適宜ノ記號ヲ附記セルアリ又包裝ニ標箋ヲ插附セルアリテ此等ハ一見他ノ產鹽ト區分スルノ便アリ收納鹽ニ在リテモ之ニ政府ノ記號ヲ附著シ賣渡スハ取締上ニ於テ便宜ナルヘシト認メタリシモ之ヲ施行スルニハ手數煩雜ニシテ之カ實行ニハ研究ヲ要スヘキモノ多シ而カモ又特ニ急施ヲ要スヘキ事項ニ非サルヲ以テ制度實施後ニ於テ之カ決定ヲ爲スヘキコトト爲シタリ

貯藏

從來鹽ハ生産ノ側ヲ賣渡シ別ニ貯藏セサルヲ普通トスルモ土地ニ依リ十日若ハ二十日位ノ貯藏ヲ爲スモノアリ稀ニハ四五月間ニ涉リ貯藏スルモノアリ其ノ貯藏スルモノハ多クハ裸鹽ニシテ貯藏減量僅ニ一二分ノモノアリ多キハ二割以上ニ超ユルモノアルモ普通ハ一割以下ニ在ルカ如シ但シ梅雨期節ニ在リテハ潮解多ク減量比較的ニ多量ナリ包裝鹽ヲ貯藏スルモノニ在リテハ鹽商人カ消費地方ニ於テ貯藏スルノ外鹽產地ニ於テハ殆ト之ヲ見ス

專賣施行後ニ於ケル鹽ノ貯藏ニ關シテハ收納方ヲ如何ニ決スヘキヤヲ先決セサルヘカラサルヲ以テ包裝ヲ施サシムルヲ原則トシ行徳又ハ鹿兒島地方ノ如キ從來無包裝ノ慣例アル地方ニ限り無包裝收納ヲ認ムルコトト爲シタリ從テ收納鹽ノ貯藏ハ包裝ノ儘其ノ等級別ニ區分貯藏スルモノト爲シタリ尤モ永ク重積スルトキハ包裝ヲ汚損シ鹽質ニモ變化ヲ生スヘキニ依リ成ルヘク長期ノ貯藏ヲ爲ササル方針ヲ採ルコトト爲シ倉庫ノ設備ニ在リテモ外濕ヲ避クル爲窓戶等ノ工事ニ相當注意シ庫床ニハ砂利又ハ炭殼ヲ敷入レ竹簀ヲ蔽ヒ之ニ貯藏スルコトト爲シタリ無包裝鹽

